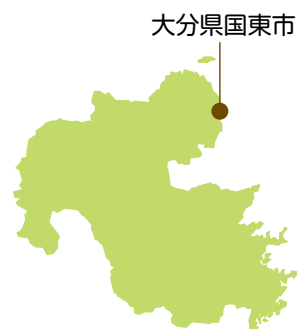


地元で働きたい女性の受け皿を目指し、女性だけで起業

ウーマンメイク株式会社

※2018年3月現在

代表者名	平山 亜美	資本金	5百万円
設立年	2015年7月7日	売上高	42百万円(2017年6月期)
事業内容	生産(リーフレタス)	経営規模	生産施設 2,995㎡
従事者数	15人(うち女性15人。女性内訳:役員3人、社員1人、常勤パート11人)		
女性活躍支援	[女性に配慮して取組んだ環境整備] 施設設備関係(休憩室・屋内トイレ・シャワー)、重労働等の業務改善		



経営概況

ウーマンメイク株式会社は、大分県国東市にあり、水耕栽培でリーフレタスを生産している。「新時代は、女性が作る」という決意を込めた社名のとおり、社長の平山亜美さんをはじめとして、役員、社員、パートの全員が女性の経営体だ。2016年7月に6連棟、2,995㎡のビニールハウスが完成し、本格的に事業を開始。年間72tを生産し、ハウスが完成し本格稼働した1年目で4,207万円を売り上げた(2017年6月期)。現在、フォレストレタス、フリルスパークレタス、コサージュレタス、ルージュ・コサージュレタスの4種を生産し、大分市の市場に出荷する



ほか、大分空港道路安岐インターチェンジに近い地の利を活かし、空輸で関東の都市圏のスーパーに販売する。

1. 経営者の理念・意識改革

代表の平山亜美氏は、出産を機に前職を退職。大分県内で子育てをしながらストレスなく働ける環境を探していたところ、異業種交流から農業関係者と人脈が繋がりと、農業の世界に一から飛び込むことを決意した。

県内でネギを主軸に生産している上原農園株式会社で研修を積むなかで、女性が地域で働く受け皿となる職場をつくりたいと考え、栽培する野菜はリーフレタスに決めた。レタスは重さも100gと軽いため、出荷の際の負担が少ない。水耕ハウス栽培は、施設整備に資金がかかるが、一年中収穫できるので、安定収入が見込める。その後、宮崎県の農業法人からレタスの栽培指導を受けつつ、起業前に販路を確保し、営業に回るなど、経営戦略を十分に練った。補助金の申請などについては全く知らなかったが、平山氏の誠実で熱心な姿勢を見て、周囲の人がアドバイスをしてくれた

という。約1年間の準備期間を経て、国などからの補助金や、日本政策金融公庫から融資を受けてハウスを建設、起業した。

設立メンバーで役員の中には、20代、30代の若手のほか、経営者としての経験を持つ人もおり、しっかりと経営基盤を築いた。平山氏は「農業は簡単じゃないと何度も言われるが、女性たちで挑戦することの強みが勝ると信じている」と語る。

2. 従業員のアイデアをブランド野菜に

同社商品のブランド名「やさいまま」には、「優しいママ」のような愛情を込めて育てる」と「野菜そのまま」の味を届ける」という2つのメッセージが込められている。

出荷時にレタスができるだけ美しく見えるように葉を整えたり、ホテルのサラダバーにはレタスのPOPを一緒に提供したりと、女性目線のアイデアや細やかさが活かしている。「農業や流通・小売の業界はまだまだ男性が多く、女性目線からの意見が求められている」と平山氏は考える。カップ型容器の包装は、バイヤーからの要望を受けて商品化したもので、素早い対応とアイデアが信頼獲得につながっている。今後は、サラダ用のミックスセットにして販売するほか、クリスマスや母の日など特別な日や、イベントの日に食べてもらえるような商品を検討中だ。

3. 女性が働きやすい環境の整備

作業現場では、働く女性たちに配慮し、高さ調整ができる作業台や、運搬台車を使う。体への負担が軽減されるほか、作業効率向上にもつながった。休憩室には畳のスペースを用意し、居心地よく、くつろげる空間を整備している。

子育て世代から子育てがひと段落した世代まで、様々な人が働く同社では、それぞれの希望に

合わせた勤務日・勤務時間を工夫する。その大きな特長は、5つの勤務時間（8時～17時、8時～12時、9時～15時など）を設けていること。当初は、それぞれの希望時間に合わせてシフトを組んでいたというが、次第に、従業員たちがどのような働き方を望んでいるのか把握できるようになり、現在のように体系化するに至ったという。始業時間は8時と9時で、朝礼も2回行う。

また、様々な勤務時間で求人募集をすることで、人員確保にも困ることがなくなった。ハローワークで「女性が働きやすい職場だ」と薦められて入社した従業員もいるほどだ。全員女性ということで、学校行事や祝日などに希望の休みが重なることも多い。しかし、女性同士だからこそ、理解・協力し合い、必要な人数を確保できているという。子連れ出勤も認めており、子育て中の人への思いやりあふれる職場となっている。

代表の平山氏は「今後も女性が職場を選ぶ選択肢のひとつが農業となるように、さらに職場環境を整えていきたい」と語る。

審査委員の声

女性のみで会社を設立し、投資を伴う水耕栽培で農業に参入したといういまままでにないタイプの農業法人。主力商品のレタスのパッケージやネーミングでは女性らしさを表現し、全員が女性というパートタイマーには、育児や介護にあわせて柔軟な勤務ができるような制度を整えている。会社設立して2期目だが、初年度から黒字化を達成している。周囲の農業者や行政機関とも連携し、地域に溶け込んでいる様子が伝わってきた。